

東京都スクールカウンセラー（臨床心理士）

金屋光彦

仲良しに起こった不可解な悲劇？

— 子どもたちの自己肯定感を考える その3 —

1 プロローグ

破綻の多くは一つの原因からは起こらない。精神疾患も、複数のストレスと葛藤の積み重なりによって発症する。種々の負荷が、ある時重なるように個人を襲い、その個人の耐性限度を超えたとき、破綻は起きるのである。

特に自我の強度・柔軟性がまだ十分でない少年は、環境要因（ストレス）の影響をもろに受ける。子どもの問題行動の真相は、彼らを取り巻く環境である学校、家庭、地域、ネット社会等、そこで展開される関係の在り様をしっかりと見ていかないと解けない。

東京都小中高における暴力行為の件数が110件増加し、2,370件になった（2016）。特に小学校での増加が著しく、前年比1.5倍。中高生の自殺が過去最多の水準が続く今、この未然防止とともに、暴力による破綻も防ぎたい。その観点から、ある小学校で起こった暴力事件を振り返る。それは、暴力が殺人の域まで至った信じがたい事件だった。

2 破綻の概要

2004年6月1日、長崎県佐世保市のO小学校で、小6の女子児童A子（当時11歳）が、仲良しだった同級のMさん（当時12歳）を、カッターナイフで頸動脈を切断し、殺害した。傷の深さは10センチに達し、Mさんはほぼ即死状態だった。

A子は、時折Mさん宅を訪れ、父親や兄（当時中3）とも面識があった。二人は友達だったと見ていた父親と兄は、なぜ殺人まで至ったのか、理解できなかった。

「大人しい普通の子」「絵が得意な、成績の良い女子児童」と見られていたA子に一体何が起こったのか？ 殺害後に接した関係者も、「ネットの掲示板で嫌なことを書かれたから～」というA子の殺害理由に首を傾げていた。“そんな理由で殺人までするのか”という疑問である。ましてや仲良しの友達を？ である。白昼小学校で女子児童が起こした惨殺事件でもあり、当時全国を震撼させた。A子を知る子どもも大人も、みな理解に苦しむ破綻だった。

3 家庭裁判所のA子とその環境への考察

大人しい普通の子A子と残忍な事件とが結びつかないことから、長崎家庭裁判所は、少年事件では異例の3カ月に及ぶ精神鑑定を行った。その結果、障害とみなすものはないが、著しい情緒的遅れがあり、共感能力に乏しいことが指摘された。また家裁は、「自分の欲求や感情を受け止めてくれる他者がいる、という基本的安心感が希薄で、他者との愛着形成が難しかった」「A子の表現でき

ない思いをくみ取られることはなく、怒り寂しさ悲しさといった感情は未分化で、適切に処理されないまま抑圧されていた」とも指摘した。

4 事件前後の様子

A子の異変は5年の3学期、A子の生きがいったミニバスケットを辞めた直後から起こった。中学受験をすすめる親は、成績が下がれば退部、とA子に告げていた。ミニバスを続けたいA子の同級生は「A子の成績を下げないでください」と担任に懇願したこともあるという。その願いむなしく、A子は退部させられる。A子自身は「お母さんに辞めさせられた」と言っていたという。その頃からA子の視線は宙に浮き、些細なことで逆上し出す。カッターナイフを振り上げて男子を追いかける、髪の毛をひっぱり殴る蹴るの暴力が目立つようになる。表情は異様な程怖く、場違いな怒りが噴出したのだ。それは、人格障害の兆候を示していたのではないかと推察される。

5 A子の家族と養育環境

A子は5人家族、両親のほかに母方の祖母と、5歳上の姉が居た。姉は両親に可愛がられ、妹のA子が泣いた時あやすのは、いつも祖母だったという。ある親類は、「絶対的な父親とそれに従う母親、姉を可愛がり、妹には無関心だった」と証言する。母親は、A子の誕生後半年で働き出す。また、彼女が2歳の時、父親が脳出血で倒れ、A子は一人テレビを見て過ごすことが多かったという。

A子はあまり泣かない子だったといわれる。が、乳幼児の唯一の意思表示は泣くことである。空腹や排せつ、寒さをはじめ、怒りや寂しさなどの感情も、泣くことで必死に表現するのが乳幼児だ。それに応じないまま放置し続けると、子どもはしまいに泣かなくなる、意思表示をしなくなるのである。米国の研究でも、同様の報告がされている。

「はっきりノーと言えず、自己主張のできない子」と両親はA子の性格をこう表現する。しかし、自己肯定感の低さを示すそれは、A子の意思を11年もの間、無視しぞんざいに扱ってきた結果ではなかったのか？ 抑圧されてきたA子の意思や感情、そしてその怒りは、自我が独立する思春期を迎え、当然親に向かうはずだった。だが現実には同級生たち、とりわけクラスのみとめ役で頼りがいのあるMさんに向かったのはなぜか？ 心を許していたMさんを残忍な方法で殺害した深い謎、それはA子自身も気づかない心の闇だったともいえるだろう～。

（つづく）